

(様式第10号) (第53条、第54条の2、第55条関係)

施工状況等報告書

令和3年7月30日

長野県知事 阿部 守一 殿

住 所 東京都千代田区内幸町1丁目1番3号
氏 名 東京電力パワーグリッド株式会社
代表取締役社長 金子 禎則
〔法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

長野県環境影響評価条例第32条第1項の規定により、下記のとおり送付します。

記

対 象 事 業 の 名 称	飛驒信濃直流幹線新設工事事業
報 告 対 象 期 間	令和三年 4月 1日から 令和三年 6月30日まで
環境の保全のための措置の状況	詳細は別紙添付資料の通り
対 象 事 業 の 実 施 状 況	今四半期は植樹，除草，残作業全て実施し工事完了。

(備考) 必要に応じ、環境の保全のための措置の状況又は対象事業の実施状況に係る図面又は写真を添付すること。

施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表」

環境要素	環境要因	実施位置	環境保全措置			
			種類	実施内容	実施状況（今回対象）	実施状況（前回まで）
騒音	建設機械の稼動に伴って発生する騒音	対象事業実施区域	回避	工事時間を8時～17時に制限する。	前回までの措置を引き続き実施	工事時間を8時～17時に制限し、工事を実施した。
			低減	低騒音型建設機械をできる限り採用する。	前回までの措置を引き続き実施	低騒音型建設機械をできる限り採用し、騒音発生の抑制を図った。
			低減	建設機械は日々点検整備する。	前回までの措置を引き続き実施	建設機械は日々点検整備し、建設機械の不具合による騒音発生の抑制を図った。
			低減	不要な建設機械の運転は避ける。	前回までの措置を引き続き実施	建設機械は使用時以外は稼動させず、不要な建設機械の運転は避けた。
			低減	工事区域最寄りの住宅側には仮設防音パネルを設置する。	前回までの措置を引き続き実施	工事区域最寄りの住宅側に仮設防音シートを設置し、周辺への騒音の影響を低減させた。
	資材及び機械の運搬に伴って発生する騒音	工事関係車両走行ルート	低減	工事用車両が集中しないように搬入時間の分散化に努める。	該当なし（資材及び機械の運搬は、令和3年3月31日に完了）	工事用車両が集中しないように現場管理を行い、搬入日、搬入時間の分散化に努めた。
			低減	規制速度を遵守する。 急発進、急停止を避けるなどエコドライブを推進する。	該当なし（資材及び機械の運搬は、令和3年3月31日に完了）	新規入場者教育により、規制速度を遵守するよう指導・教育を行ったほか、急発進、急停止を避けるなどエコドライブを推進するよう指導・教育を行った。
振動	建設機械の稼動に伴って発生する振動	対象事業実施区域	回避	工事時間を8時～17時に制限する。	前回までの措置を引き続き実施	工事時間を8時～17時に制限し、工事を実施した。
			低減	建設機械は日々点検整備する。	前回までの措置を引き続き実施	建設機械は日々点検整備し、建設機械の不具合による振動発生の抑制を図った。
			低減	不要な建設機械の運転は避ける。	前回までの措置を引き続き実施	建設機械は使用時以外は稼動させず、不要な建設機械の運転は避けた。
	資材及び機械の運搬に伴って発生する振動	工事関係車両走行ルート	低減	工事用車両が集中しないように搬入時間の分散化に努める。	該当なし（資材及び機械の運搬は、令和3年3月31日に完了）	工事用車両が集中しないように現場管理を行い、搬入日、搬入時間の分散化に努めた。
			低減	規制速度を遵守する。	該当なし（資材及び機械の運搬は、令和3年3月31日に完了）	新規入場者教育により、規制速度を遵守するよう指導・教育を行ったほか、急発進、急停止を避けるなどエコドライブを推進するよう指導・教育を行った。
			低減	急発進、急停止を避けるなどエコドライブを推進する。		
			回避	山間地への資機材運搬に使用するヘリコプターの運航にあたっては、休日や早朝、夜間の飛行は避けると共に、最寄りの地域住民へ十分な説明を行う。	該当なし（ヘリコプターの運航は、令和2年8月5日に完了）	山間地への資機材運搬に使用するヘリコプターの運航は、休日、早朝、夜間の飛行を避けた。ヘリコプター運航については、事前に地域住民に運航スケジュールを周知している。
植物	送電線工事に伴う土地形状変更、樹木の伐採による影響	対象事業実施区域	回避	対象事業実施区域内に生育する注目すべき種の生育地について、モノレールルート等の事業計画の変更を検討し、可能なものについては消失を回避する。	該当なし（環境保全措置は完了）	対象事業実施区域内に生育する注目すべき種のうち、事業計画の変更により回避が困難な個体について、生育に適した環境へ移植を行った。
			低減	対象事業実施区域内に生育する注目すべき種のうち、上記の回避が困難な個体については、生育に適した環境へ移植等を行うことで種の保全を図る。	該当なし（環境保全措置は完了）	植物体が大きく移植が困難であったキョウマルジャクナゲについて、挿し木等の手法で育苗を行った後、生育に適した環境へ植え付けを行った。育苗には、挿し木・接ぎ木・伏せ取り木・高取り木といった、可能な限り複数の手法を用いた。また、乾燥低温貯蔵していた種子を播種した。
			低減	大木等の植物体が大きく移植が困難な種については、挿し木による種の保全を検討する。	該当なし（環境保全措置は完了）	1年草については、現地で種をつけた個体を、埋土種子が存在すると思われる表土ごと移植した。
			低減	1年草については、種子を採取し、播種による種の保全を検討する。	該当なし（環境保全措置は完了）	隣接する工事区域の樹木伐採の幅が狭く、周辺樹林の被覆により光環境の変化が認められなかったことから、間接的影響は生じていなかった。
			低減	対象事業実施区域近辺に生育する注目すべき種のうち、生育地が隣接することで、樹木の伐採等により光環境の変化の程度が大きい個体については、林縁部に遮光ネットを設置するなど光環境の改善を図る。	前回までの措置を引き続き実施	鉄塔敷以外の区域について、現存植生の復元を目指した緑化を行った。
			低減	樹木の伐採等により現状を変更した区域のうち、鉄塔敷以外の区域については、現存植生の復元を目指した緑化を行う。樹種は伐採した樹木の中から代表的な種を選定し、地権者の了解を得た上で植樹する。	該当なし（環境保全措置は完了）	対象事業実施区域近辺の注目すべき種の生育地について、生育地の保護としてマーキングボールの設置を行い、作業員に周知した。
			低減	工事関係者及び作業員に対して、対象事業実施区域外への不用意な立ち入りを行わないよう指導する。		
動物・生態系	工事による影響	クマタカの営巣中心域に含まれる計画鉄塔	回避	繁殖期にあたる1月～8月の期間、ほぼ全面的に施工を制限する。	該当なし（クマタカの営巣中心域に含まれる計画鉄塔での工事は、令和2年12月25日に完了）	営巣中心域に含まれる計画鉄塔について、ほぼ全面的に施工を制限した。一部の鉄塔については、クマタカの忌避行動の有無の確認調査を実施した上で、7月に工事を実施した。なお、猛禽類に係る環境保全措置については、有識者と検討を重ね実施している（以下の環境保全措置も同様）。
			低減	対象事業実施区域近辺の注目すべき種の生育地について、ロープで囲う又は注意喚起の看板を設置し、生育地を保護するとともに、作業員に周知する。		

環境要素	環境要因	実施位置	環境保全措置			
			種類	実施内容	実施状況（今回対象）	実施状況（前回まで）
動物・生態系	工事による影響	クマタカの営巣中心域に含まれる計画鉄塔	低減	一部工程の調整が不可能な鉄塔については、影響の少ない工種(モノレール設置等)とし、繁殖期の後半(8月)に、低騒音型機械を使用して作業を行う。	該当なし(クマタカの営巣中心域に含まれる計画鉄塔での工事は、令和2年12月25日に完了)	調査の結果、非繁殖年又は繁殖失敗が確認されたため、施工制限期間を短縮し、7月から工事を実施した。(7月～9月までの間、該当する作業は実施していない)
		クマタカの高利用域に含まれる計画鉄塔	回避	影響が大きいと考えられるヘリコプター運搬は、繁殖期にあたる1月～8月の期間は避け、9月からの運搬とする。	該当なし(ヘリコプターの運搬は、令和2年7月24日に完了)	高利用域に含まれる計画鉄塔について、ヘリコプター運搬を制限したが、一部の鉄塔については、クマタカの忌避行動の有無の確認調査を実施した上で、7月にヘリコプター運搬を実施した。
			低減	ヘリコプター運搬に代わる運搬方法(車両運搬・モノレール運搬等)を検討して実施する。	該当なし(ヘリコプターの運搬は、令和2年7月24日に完了)	ヘリコプター運搬としていた一部の計画鉄塔について、モノレールを設置し、併用運搬とした。また、ヘリコプター運搬としていた一部の計画鉄塔について、より低騒音であるドローン運搬に変更し実施した。
			回避	樹木の伐採時期を調整し、繁殖期にあたる1月～8月の期間を避けて行う。	該当なし(樹木の伐採は令和2年9月8日で完了)	樹木の伐採は、繁殖期にあたる1月～8月の期間を避けて行った。
			低減	建設機械は低騒音型機械を使用し、施工方法や工程を十分に検討し、建設機械の集中稼働を避ける。	該当なし(環境保全措置は完了)	「騒音」、「振動」の項目に準じて実施した。
		ヘリポート、ヘリコプター飛行コース	回避	営巣中心域及び高利用域に近い既設のヘリポートは使用しないこととし、クマタカへの影響の少ない箇所に新規ヘリポートを選定する。	該当なし(ヘリコプターの運航は、令和2年7月24日に完了)	営巣中心域及び高利用域に近い既設のヘリポートは使用せず、新規にヘリポートを設定した。
			低減	繁殖期にあたる1月～8月の期間中のヘリコプター飛行コースは、営巣中心域及び高利用域に入らないよう別途飛行コースを定め、注意して飛行する。	該当なし(ヘリコプターの運航は、令和2年7月24日に完了)	営巣中心域及び高利用域に入らないよう、ヘリコプターの飛行コースを定めた。
		オオタカの営巣中心域に含まれる計画鉄塔	回避	繁殖期にあたる2月～7月の期間、全面的に施工を制限する。	該当なし(オオタカの営巣中心域に含まれる計画鉄塔での工事は、令和2年12月25日に完了)	営巣中心域に含まれる計画鉄塔について、2月～7月の期間、全面的に施工を制限した。
		オオタカの高利用域に含まれる計画鉄塔	低減	建設機械は低騒音型機械を使用し、施工方法や工程を十分に検討し、建設機械の集中稼働を避ける。	該当なし(オオタカの高利用域に含まれる計画鉄塔での工事は、令和2年12月25日に完了)	「騒音」、「振動」の項目に準じて実施した。
		対象事業実施区域周辺	-	対象事業実施区域周辺に生息する希少猛禽類の内、繁殖の可能性が考えられるものの営巣地が特定されていないつがいを対象に追加調査を実施する。 営巣地の特定後は、追加で必要な環境保全措置について検討する。 上記調査の中で、対象としていない希少猛禽類の営巣地が確認された場合は、追加で必要な調査及び環境保全措置について検討する。	過去に営巣地が特定されていたが、引き続き営巣場所調査を実施し、クマタカの新たな巣を特定した。	営巣地が特定されていないつがいを対象に、追加で営巣場所調査を実施した。
	クマタカについては、巣を特定した段階ですでに繁殖は失敗しており、新たな環境保全措置の必要はないと判断した。				営巣地が特定されたつがいを対象に、行動圏の内部構造の再解析を行い、追加で必要な環境保全措置を検討した。	
	ハイタカ及びツミについて、新たな巣を特定した。ハイタカについては営巣地が対象事業実施区域から800m以上離れていること、ツミについては巣の特定時期が6月中旬であり、すでに対象事業の工事はほぼ完了していたことから、新たな環境保全措置の必要はないと判断した。				該当なし	
	奈川のゴマシジミ生息地	低減	工事車両の運搬路のうち、奈川のゴマシジミ生息地の林道については、徐行区間と定め、ゴマシジミの忌避を抑制する。	該当なし(奈川のゴマシジミ生息地での工事は令和2年12月8日に完了)	奈川のゴマシジミ生息地の林道を徐行区間と定め、ゴマシジミの忌避を抑制した。	
		低減	工事関係者及び作業員に対して、対象事業実施区域外への不用意な立ち入りを行わないよう指導し、工事車両の空ぶかしや急発進等による騒音の発生を抑制するよう指導する。	該当なし(奈川のゴマシジミ生息地での工事は令和2年12月8日に完了)	「騒音」、「振動」の項目に準じて実施した。	
		低減	対象事業の実施により消失するワレモコウについて、生育に適した環境に移植を行い、ゴマシジミ生息環境の保全を図る。移植は花芽が出る前の5月頃に行う。	該当なし(環境保全措置は完了)	対象事業実施区域内で確認されたワレモコウ約500株及びハラクシケアリの巣6箇所について、移植を実施した。移植時期は有識者への聞き取りから、ゴマシジミとハラクシケアリの共生関係が最も希薄な8月下旬～9月上旬とした。	
		低減	ワレモコウの移植に際しては事前にアリの生息調査を行い、できる限りハラクシケアリの生息地付近を移植地とする。	該当なし(環境保全措置は完了)	事前にハラクシケアリの調査を実施し、既存のハラクシケアリの巣が存在する付近を移植地とした。また、地権者との協議から草の刈り取り頻度が低い場所を選定した。	
	白樺峠から概ね5kmの範囲に計画する鉄塔	回避	影響が大きいと考えられる基礎工事、組立工事、ヘリコプター運搬は、渡り期間にあたる9月～11月中旬の期間を避けた工事工程とする。	該当なし(環境保全措置は完了)	平成29年度は、9月上旬～11月上旬の期間、全面的に施工を制限した。平成30年度からは、有識者と協議の上、工事制限期間を9月上旬～10月末とし、平成31年度に工事が完了した。	
		回避	その他の工種についても、可能な限り9月～11月中旬の期間を避けた工事工程とする。			
		低減	一部工程の調整が不可能な鉄塔については、設備撤去や道路整備等の地上部での作業とし、低騒音型機械を使用して作業を行う。			
	対象事業実施区域	低減	樹木の伐採等により現状を変更した区域の内、鉄塔敷以外の区域については、現存植生の復元を目指した緑化を行う。樹種は伐採した樹木の中から代表的な種を選定し、地権者の了解を得た上で植樹する。	前回までの措置を引き続き実施	鉄塔敷以外の区域について、現存植生の復元を目指した緑化を行った。	

注：環境保全措置の種類

- ・回避：全部又は一部を行わないこと等により、影響を回避する。
- ・低減：実施規模若しくは程度を制限すること又は発生した影響を何らかの手段で軽減若しくは消失させることにより、影響を低減する。
- ・代償：代用的な資源若しくは環境で置き換えたり、又は提供すること等により、影響を代償する。

植物・動物・生態系の事後調査結果

期間：令和3年4月1日～令和3年6月30日

環境要素	保全対象種	調査内容	事後調査結果	別紙写真番号
植物	ササユリ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	6月7日に環境保全措置（移植）を実施した11個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・9個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。	写真ササ -1,2
			6月8日に環境保全措置（移植及びマーキングポールの設置）を実施した10個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・9個体の生育を確認し、1個体については蕾がみられたほか、新たに実生5個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。	
			6月9日に環境保全措置（移植）を実施した35個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・26個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。	
			6月10日に環境保全措置（移植）を実施した10個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・4個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。	
	ギンラン	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	6月10日に環境保全措置（移植）を実施した6個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・1個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。	写真ギン -1,2
	イチヨウラン	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	5月23日に環境保全措置（移植）を実施した49個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・27個体の生育を確認した。 ・生育環境に下草が繁茂していたため、環境整備として草刈りを実施した。	写真イチ -1,2
			5月24日に環境保全措置（移植）を実施した11個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・7個体の生育を確認し、3個体については開花がみられた。 ・生育環境に変化はみられなかった。	
アリドオシラン	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	6月7日に環境保全措置（移植）を実施した22個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・22個体の生育を確認し、3個体については蕾がみられたほか、新たに11個体の生育を確認した。 ・生育環境に下草が繁茂していたため、環境整備として草刈りを実施した。	写真アリ -1,2	

植物	オオバノトンボソウ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	<p>6月8日に環境保全措置（マーキング）を実施した1個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1個体の生育を確認し、1個体については蕾がみられたほか、新たに1個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。 <p>6月9日に環境保全措置（移植）を実施した19個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5個体の生育を確認し、2個体については蕾がみられた。 ・生育環境に下草が繁茂していたため、環境整備として草刈りを実施した。 <p>6月10日に環境保全措置（移植）を実施した1個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生育環境に変化はみられなかったが、個体は確認されなかった。 	写真オオ -1,2
	ヒトツボクロ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	<p>6月9日に環境保全措置（移植）を実施した606個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・41個体の生育を確認し、2個体については開花がみられた。 ・生育環境に下草が繁茂していたため、環境整備として草刈りを実施した。 <p>6月10日に環境保全措置（マーキング）を実施した2個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。 <p>6月11日に環境保全措置（移植）を実施した9個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。 	写真ヒト -1,2
	ナガミノツルケマン	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	<p>6月11日に環境保全措置（マーキング）を実施した10個体の種子からの発芽個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。 	写真ナガ -1,2
	ヤマシヤクヤク	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	<p>5月24日に環境保全措置（移植）を実施した8個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8個体の生育を確認し、3個体については蕾がみられたほか、新たに12個体の生育を確認した。 ・生育環境に下草が繁茂していたため、環境整備として草刈りを実施した。 	写真ヤマ -1,2

植物	ヤマシヤクヤク ベニバナ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	6月8日に環境保全措置（移植）を実施した17個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・17個体の生育を確認し、1個体については蕾がみられた。 ・生育環境に下草が繁茂していたため、環境整備として草刈りを実施した。	写真ベニ -1,2
	ボタン属の一種	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	5月24日に環境保全措置（マーキング）を実施した1個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・1個体の生育を確認したが開花がみられず、種の特定には至らなかった。 ・生育環境に下草が繁茂していたため、環境整備として草刈りを実施した。	写真ボタ -1,2
	サナギイチゴ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	5月23日に環境保全措置（移植）を実施した130個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・94個体の生育を確認し、1個体については開花跡が見られた。 ・生育環境に変化はみられなかった。	写真サナ -1,2
	オオヤマカタバミ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	5月24日に環境保全措置（マーキング）を実施した2個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・2個体の生育を確認し、1個体については結実が見られたほか、新たに12個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。	写真カタ -1,2
	マキノスミレ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	4月26日に環境保全措置（移植及びマーキング）を実施した476個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・217個体の生育を確認し、19個体については開花が見られた。 ・生育環境に倒木や落枝が確認されたため、環境整備としてそれらの除去を実施した。 4月27日に環境保全措置（移植）を実施した322個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・113個体の生育を確認し、4個体については開花が、3個体については結実が見られた。 ・生育環境に倒木や落枝が確認されたため、環境整備としてそれらの除去を実施した。	写真マキ -1,2

植物	イワアカザ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	6月10日に環境保全措置（マーキング）を実施した14個の種子からの発芽個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・12個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。	写真イワ -1,2
	キョウマルシヤクナゲ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	5月23日に環境保全措置（移植及び播種）を実施した74個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・51個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。 ・播種を実施した箇所において3個体の実生を確認した。	写真キョ -1~3
	ダイセンミツバツジ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	4月27日に環境保全措置（移植）を実施した10個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・10個体の生育を確認した。 ・生育環境に下草が繁茂していたため、環境整備として草刈りを実施した。	写真ダイ -1,2
	センブリ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	6月9日に環境保全措置（移植）を実施した2個体の種子からの発芽個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・種子からの発芽個体は確認されなかった。 ・生育環境に変化はみられなかった。	写真セン -1,2
	テングノコツチ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	6月7日に環境保全措置（移植及びマーキング）を実施した16個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・16個体の生育を確認し、新たに6個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。	写真テン -1,2

植物	ヒヨクソウ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	6月10日に環境保全措置（マーキング）を実施した17個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・17個体の生育を確認し、すべての個体に開花が見られたほか、新たに7個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。	写真ヒヨ -1,2
	フトボナギナタコウジュ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	6月8日に環境保全措置（移植）を実施した29個体の種子からの発芽個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・種子から発芽した実生79個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。	写真フト -1,2
			6月9日に環境保全措置（移植）を実施した15個体の種子からの発芽個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・種子から発芽した実生85個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。	
	ケヤマウツボ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	5月24日に環境保全措置（マーキング）を実施した33個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・33個体すべての生育を確認し、4個体については開花が、29個体については結実が見られ、新たに4個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。	写真ケヤ -1,2
	鹿害 (調査対象)	ニホンジカの侵入確認調査	4月13日～6月4日の間、鉄塔13箇所センサーカメラによるニホンジカの侵入確認調査を実施した。 ・鉄塔13箇所のうち6箇所で、ニホンジカが撮影された。 ・ニホンジカの確認は、いずれも短期間であり、最大50日間の撮影期間で、最も多い箇所では7日、最も少ない箇所では1日の撮影頻度であった。	写真鹿害 -1
			植生状況の変化や鹿害の有無の確認調査	4月13～16日、5月10～13日、6月1～4日に鉄塔13箇所で、植生状況の変化や鹿害の有無の確認調査を実施した。 ・5月～6月にかけて、多くの箇所で草本や低木が繁茂した。 ・3回（13箇所）の調査のなかで、10箇所でニホンジカあるいはニホンカモシカによる食痕が認められた。

動物・生態系	A つがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	4月25, 26, 29日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計9回出現した。営巣地周辺で昨年産まれたの幼鳥が確認され、つがいによる餌運搬（幼鳥への給餌行動と推定される）が確認された。	写真クマA-1
			5月11日に営巣場所を特定するための観察を実施した。 ・既知の巣は崩れかけており、繁殖は行われていなかった。 ・幼鳥の養育が継続していると推定されたことから、本年は非繁殖年となっているものと考えられた。	写真クマA-2
			6月14～16日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計2回出現し、営巣地周辺で昨年産まれたの幼鳥が確認された。	写真クマA-3
	D つがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	4月27, 28, 30日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計3回出現したが、出現した個体はすべてメスであった。	写真クマD-1
			5月11, 12日に営巣場所を特定するための観察を実施した。 ・既知の巣で繁殖は行われておらず、新たな巣も確認されなかった。また、営巣場所調査のなかで合計13回出現したが、繁殖に係る行動等は確認されなかった。	写真クマD-2, 3
			6月11日に営巣場所を特定するための観察を実施した。 ・新たな巣は確認されなかった。	—
			6月17～19日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計9回出現した。つがいの飛翔やとまりが確認されたほか、メスによる誇示飛翔が確認された。	写真クマD-4, 5
	E つがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏等 を把握する調査	4月27, 28, 30日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計9回出現した。つがいが確認され、営巣地周辺でメスによる誇示飛翔が確認されたほか、昨年産まれたの幼鳥が確認された。	写真クマE-1
			5月11日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・既知の巣内に青葉が存在し、羽毛の付着が認められたが、巣内に卵や雛は確認されなかった。また、営巣場所調査のなかで合計6回出現し、メスによる誇示飛翔が確認された。	写真クマE-2, 3
			6月9日に繁殖状況を把握するための踏査を実施した。 ・既知の巣上の青葉は枯れ、繁殖は行われていなかった。	写真クマE-4
			6月17～19日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計13回出現し、営巣地周辺でつがいによる飛翔やとまりが確認されたほか、昨年産まれたの幼鳥が確認された。	写真クマE-5
	F つがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏等 を把握する調査	4月27, 28, 30日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計23回出現し、営巣地周辺でつがいによる誇示飛翔が確認された。	写真クマF-1～3
			5月12日に営巣場所を特定するための踏査や観察を実施した。 ・既知の巣で繁殖は行われておらず、新たな巣も確認されなかった。	写真クマF-4
			6月10日に営巣場所を特定するための踏査や観察を実施した。 ・新たな巣は確認されなかった。	—
			6月17～19日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・他項目調査も含めて合計18回出現し、つがいによる誇示飛翔や攻撃行動が確認された。	写真クマF-5, 6

動物・生態系	G つがい クマタカ	を把握する調査 繁殖状況及び行動圏等	4月25, 26, 29日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計11回出現し、営巣地周辺ではつがいによる誇示飛翔が確認された。また、営巣地周辺で昨年産まれたの幼鳥が確認され、つがいによる餌運搬（幼鳥への給餌行動と推定される）が確認された。	写真クマG-1, 2
			5月12日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・既知の巣で繁殖は行われていなかった。 ・幼鳥の養育が継続していると推定されたことから、本年は非繁殖年となっているものと考えられた。	写真クマG-3
			6月14~16日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・他項目調査も含めて合計5回出現し、営巣地周辺で昨年産まれたの幼鳥が確認された。	写真クマG-4
	H つがい クマタカ	を把握する調査 繁殖状況及び行動圏等	4月25, 26, 29日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・他項目調査も含めて合計13回出現した。つがいが確認され、営巣地周辺でオスによる誇示飛翔が確認された。	写真クマH-1
			5月13日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・新たな巣を特定し、巣上に羽毛の付着が認められたが、すでに繁殖は失敗していた。	写真クマH-2
			6月14~16日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・出現頻度は低く、1回のみ出現であった。	—
	A つがい オオタカ	を把握する調査 繁殖状況及び行動圏等	4月25~26日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・オオタカは確認されなかった。	—
			5月13~14日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・オオタカは確認されなかった。	—
			5月14日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・既知の巣で繁殖は行われていなかった。	写真オオA-1
			6月8日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・既知の巣で繁殖は行われておらず、新たな巣も確認されなかった。	写真オオA-2~4
			6月16~17日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・オオタカは確認されなかった。	—
	B つがい オオタカ	を把握する調査 繁殖状況及び行動圏等	4月27~28日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計4回出現し、営巣地周辺で成鳥のとまりや鳴き声が確認された。	—
			5月11~12日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・他項目調査も含めて合計6回出現し、営巣地周辺でつがいのとまりや鳴き声が確認された。	写真オオB-1
			5月14日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・既知の巣で繁殖は行われていなかった（うち1箇所ではノスリが繁殖）。	写真オオB-2~5
			6月8日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・新たな巣は確認されなかった。	—
6月14~15日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・オオタカは確認されなかった。			—	

動物・生態系	Dつがい オオタカ	繁殖状況及び行動圏等を把握する調査	4月29～30日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・他項目調査も含めて合計12回出現した。隣接するCつがいのほか、本地区に定着していると考えられるつがいを確認され、つがいによる誇示飛翔や攻撃行動が確認された。	写真オオD-1
			5月11～12日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・他項目調査も含めて合計8回出現した。出現した個体の多くは隣接するCつがいであったが、本地区のオスの飛翔も1回確認された。	写真オオD-2
			5月13日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・既知の巣で繁殖は行われていなかった。 ・隣接するCつがいの巣では、巣に羽毛が多数付着しており、繁殖を行っていることが明らかとなった。(抱卵中と推定。)	写真オオD-3,4
			6月9日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・既知の巣で繁殖は行われておらず、新たな巣は確認されなかった。 ・隣接するCつがいの巣では、巣直下にメスの死体が確認され、繁殖は失敗していた。 ・隣接するEつがいの巣では、メスが巣内で抱卵もしくは抱雛行動を行っており、繁殖を行っていることが明らかとなった。	写真オオD-5～7
			6月18～19日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・他項目調査も含めて合計5回出現した。隣接するCつがいオスが確認されたほか、本地区のメスが出現し、誇示飛翔や他種への攻撃行動が確認された。 ・繁殖の可能性が考えられたため、営巣場所を特定するための踏査を実施したが、新たな巣は確認されなかった。	写真オオD-8
動物	B地区 ハチクマ	繁殖状況及び行動圏等を把握する調査	5月11～12日のオオタカBつがいの調査の中で確認調査を実施した。 ・ハチクマは確認されなかった。	—
			6月8, 14, 15日のオオタカBつがいの調査の中で確認調査を実施した。 ・合計4回出現した。オスが確認され、営巣地周辺で飛翔やとまりが確認されたが、出現したオスは昨年まで繁殖を行っていた本地区のオスとは別個体であった。 ・既知の巣で繁殖は行われていなかった。	写真ハチB-1～3
	C地区 ハチクマ	繁殖状況及び行動圏等を把握する調査	5月15～16日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計9回出現し、複数のオスが広範囲に確認された。また、誇示飛翔や他種への攻撃行動が確認された。	写真ハチC-1
6月18～19日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計21回出現し、複数のオス・メスが広範囲に確認された。また、つがいと考えられる個体による並びどまりが確認されたほか、複数方向への餌運搬が確認された。餌運搬は、南側遠方や尾根を越えた方向へ消失しており、運搬場所は不明であった。 ・餌運搬が確認された尾根周辺を踏査したが、新たな巣は確認されなかった。 ・南側遠方及び南西側遠方の既知の巣で繁殖は行われていなかった(うち1箇所ではトビが繁殖)。			写真ハチC-2～5	


動物	ツミ	繁殖を示唆する 行動等の確認	上記、クマタカ・オオタカ・ハチクマの調査の中で確認調査を実施した。 ・合計7回出現した。繁殖に係る行動として複数方向への餌運搬が確認されたが、北西側遠方や尾根を越えた方向へ消失しており、運搬先は不明であった。また、樹林内では鳴き声が確認された。 ・鳴き声が確認された場所を踏査したところ、新たな巣が特定された。巣ではつがいによる抱卵行動が行われていた。 ・昨年確認された巣では、繁殖は行われていなかった。	写真ツミ -1~2
	ハイタカ	繁殖を示唆する 行動等の確認	上記、クマタカ・オオタカ・ハチクマの調査の中で確認調査を実施した。 ・合計10回出現した。繁殖に係る行動として攻撃行動が確認されたほか、過去の営巣地方向への餌運搬が確認された。 ・餌の運搬先の樹林を踏査したところ、新たな巣が特定された。新たな巣では、メスが抱卵行動を行っていた。	写真ハイ -1
動物・生態系	ゴマシジミ本州中部亜種	生育・生息状況 移植個体の	環境保全措置（ワレモコウ及びハラクシケアリの巣の移植）の実施箇所において、6月14日に移植個体の生育・生息状況を把握する調査を実施した。 ・約660株のワレモコウの生育を確認し、1箇所のハラクシケアリの巣を確認した。	写真ゴマ -1,2
		変化の有無 生育環境の	環境保全措置（ワレモコウ及びハラクシケアリの巣の移植）の実施箇所において、6月14日に生育環境の変化の有無を把握する調査を実施した。 ・大きな変化はなく、ワレモコウの生育状況は良好であった。	写真ゴマ -3
		周辺のハラクシケ アリの巣	6月14日に周辺のハラクシケアリの巣の確認調査を実施した。 ・合計21箇所でハラクシケアリの巣を確認した。ソバ耕作の再開により一部の巣の数が減少していたが、それを除くと生息状況は良好であった。	写真ゴマ -4
動物	ヒョウモンチョウ 本州中部亜種	個体数の確認	6月15日に周辺のヒョウモンチョウの個体数を確認する調査を実施した。 ・ヒョウモンチョウは確認されなかった。	—

写真帳

	保 全 対象種	ササユリ
	写 真 番 号	ササ-1
	撮影日	令和3年6月8日
	移植個体の生育状況	
	保 全 対象種	ササユリ
	写 真 番 号	ササ-2
	撮影日	令和3年6月8日
	生育環境の状況	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-1
	撮影日	令和3年6月10日
	移植個体の生育状況	

	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-2
	撮影日	令和3年6月10日
	生育環境の状況	
	保 全 対象種	イチヨウラン
	写 真 番 号	イチ-1
	撮影日	令和3年5月24日
	移植個体の生育状況	
	保 全 対象種	イチヨウラン
	写 真 番 号	イチ-2
	撮影日	令和3年5月24日
	生育環境の状況	




	保 全 対象種	アリドオシラン
	写 真 番 号	アリー-1
	撮影日	令和3年6月7日
	移植個体の生育状況	
	保 全 対象種	アリドオシラン
	写 真 番 号	アリー-2
	撮影日	令和3年6月7日
	生育環境の状況	
	保 全 対象種	オオバノトンボソウ
	写 真 番 号	オオー-1
	撮影日	令和3年6月8日
	マーキング個体の生育状況	

	保 全 対象種	オオバノトンボソウ
	写 真 番 号	オオー2
	撮影日	令和3年6月8日
	生育環境の状況	
	保 全 対象種	ヒトツボクロ
	写 真 番 号	ヒトー1
	撮影日	令和3年6月9日
	移植個体の生育状況	
	保 全 対象種	ヒトツボクロ
	写 真 番 号	ヒトー2
	撮影日	令和3年6月9日
	生育環境の状況	

	保全対象種	ナガミノツルケマン
	写真番号	ナガー1
	撮影日	令和3年6月11日
	マーキング個体の生育状況	
	保全対象種	ナガミノツルケマン
	写真番号	ナガー2
	撮影日	令和3年6月11日
	生育環境の状況	
	保全対象種	ヤマシャクヤク
	写真番号	ヤマー1
	撮影日	令和3年5月24日
	移植個体の生育状況	

	保 全 対象種	ヤマシャクヤク
	写 真 番 号	ヤマ-2
	撮影日	令和3年5月24日
	生育環境の状況	
	保 全 対象種	ベニバナヤマシャクヤク
	写 真 番 号	ベニ-1
	撮影日	令和3年6月8日
	移植個体の生育状況	
	保 全 対象種	ベニバナヤマシャクヤク
	写 真 番 号	ベニ-2
	撮影日	令和3年6月8日
	生育環境の状況	



	保 全 対象種	ボタン属の一種
	写 真 番 号	ボター1
	撮影日	令和3年5月24日
	マーキング個体の生育状況	
	保 全 対象種	ボタン属の一種
	写 真 番 号	ボター2
	撮影日	令和3年5月24日
	生育環境の状況	
	保 全 対象種	サナギイチゴ
	写 真 番 号	サナー1
	撮影日	令和3年5月23日
	移植個体の生育状況	

	保 全 対象種	サナギイチゴ
	写 真 番 号	サナー2
	撮影日	令和3年5月23日
	生育環境の状況	
	保 全 対象種	オオヤマカタバミ
	写 真 番 号	カター1
	撮影日	令和3年5月24日
	マーキング個体の生育状況	
	保 全 対象種	オオヤマカタバミ
	写 真 番 号	カター2
	撮影日	令和3年5月24日
	生育環境の状況	




	保 全 対象種	マキノスミレ
	写 真 番 号	マキ-1
	撮影日	令和3年4月27日
	移植個体の生育状況	
	保 全 対象種	マキノスミレ
	写 真 番 号	マキ-2
	撮影日	令和3年4月27日
	生育環境の状況	
	保 全 対象種	イワアカザ
	写 真 番 号	イワ-1
	撮影日	令和3年6月10日
	マーキング個体の生育状況	

	保 全 対象種	イワアカザ
	写 真 番 号	イワ-2
	撮影日	令和3年6月10日
	生育環境の状況	
	保 全 対象種	キョウマルシヤクナゲ
	写 真 番 号	キョ-1
	撮影日	令和3年5月23日
	移植個体の生育状況	
	保 全 対象種	キョウマルシヤクナゲ
	写 真 番 号	キョ-2
	撮影日	令和3年5月23日
	生育環境の状況	




	保 全 対象種	キョウマルシヤクナゲ
	写 真 番 号	キョー3
	撮影日	令和3年5月23日
	播種箇所の発芽個体の状況	
	保 全 対象種	ダイセンミツバツツジ
	写 真 番 号	ダイー1
	撮影日	令和3年4月27日
	移植個体の生育状況	
	保 全 対象種	ダイセンミツバツツジ
	写 真 番 号	ダイー2
	撮影日	令和3年4月27日
	生育環境の状況	

	保 全 対象種	センブリ
	写 真 番 号	セン-1
	撮影日	令和3年6月9日
	移植個体の生育状況	
	保 全 対象種	センブリ
	写 真 番 号	セン-2
	撮影日	令和3年6月9日
	生育環境の状況	
	保 全 対象種	テングノコヅチ
	写 真 番 号	テン-1
	撮影日	令和3年6月7日
	マーキング個体の生育状況	

	保 全 対象種	テングノコヅチ
	写 真 番 号	テンー2
	撮影日	令和3年6月7日
	生育環境の状況	
	保 全 対象種	ヒヨクソウ
	写 真 番 号	ヒヨー1
	撮影日	令和3年6月10日
	マーキング個体の生育状況	
	保 全 対象種	ヒヨクソウ
	写 真 番 号	ヒヨー2
	撮影日	令和3年6月10日
	生育環境の状況	

	保 全 対象種	フトボナギナタコウジュ
	写 真 番 号	フトー1
	撮影日	令和3年6月9日
	移植個体の生育状況	
	保 全 対象種	フトボナギナタコウジュ
	写 真 番 号	フトー2
	撮影日	令和3年6月9日
	生育環境の状況	
	保 全 対象種	ケヤマウツボ
	写 真 番 号	ケヤー1
	撮影日	令和3年5月24日
	マーキング個体の生育状況	

	保 全 対象種	ケヤマウツボ
	写 真 番 号	ケヤ-2
	撮影日	令和3年5月24日
生育環境の状況		
 <p>Bushnell 04-19-2021 01:53:06</p>	保 全 対象種	鹿害（調査対象）
	写 真 番 号	鹿害-1
	撮影日	令和3年4月19日
ニホンジカの確認状況		
	保 全 対象種	鹿害（調査対象）
	写 真 番 号	鹿害-2
	撮影日	令和3年4月15日
ニホンジカもしくはニホンカモシカの食痕		

	保 全 対 象 種	鹿害（調査対象）
	写 真 番 号	鹿害-3
	撮 影 日	令和3年4月15日
	鉄塔敷地内の植生状況（4月） 鉄塔①	
	保 全 対 象 種	鹿害（調査対象）
	写 真 番 号	鹿害-4
	撮 影 日	令和3年5月12日
	鉄塔敷地内の植生状況（5月） 鉄塔①	
	保 全 対 象 種	鹿害（調査対象）
	写 真 番 号	鹿害-5
	撮 影 日	令和3年6月3日
	鉄塔敷地内の植生状況（6月） 鉄塔①	




	保 全 対 象 種	鹿害（調査対象）
	写 真 番 号	鹿害-6
	撮 影 日	令和3年4月13日
	鉄塔敷地内の植生状況（4月） 鉄塔⑫	
	保 全 対 象 種	鹿害（調査対象）
	写 真 番 号	鹿害-7
	撮 影 日	令和3年5月10日
	鉄塔敷地内の植生状況（5月） 鉄塔⑫	
	保 全 対 象 種	鹿害（調査対象）
	写 真 番 号	鹿害-8
	撮 影 日	令和3年6月1日
	鉄塔敷地内の植生状況（6月） 鉄塔⑫	

	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマA-1
	撮影日	令和3年4月26日
	クマタカAつがいの幼鳥	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマA-2
	撮影日	令和3年5月11日
	クマタカAつがいの巣 巣は崩れかけており、利用されていない	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマA-3
	撮影日	令和3年6月14日
	クマタカAつがいの幼鳥	

	保全対象種	クマタカ
	写真番号	クマD-1
	撮影日	令和3年4月27日
	クマタカDつがいのメス	
	保全対象種	クマタカ
	写真番号	クマD-2
	撮影日	令和3年5月11日
	クマタカDつがいの古巣 崩れており，利用されていない	
	保全対象種	クマタカ
	写真番号	クマD-3
	撮影日	令和3年5月11日
	クマタカDつがいの古巣 利用されていない	

	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマD-4
	撮影日	令和3年6月17日
	クマタカDつがいのメス	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマD-5
	撮影日	令和3年6月18日
	クマタカDつがいのオス	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマE-1
	撮影日	令和3年4月27日
	クマタカEつがいの幼鳥	

	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマE-2
	撮影日	令和3年5月11日
クマタカEつがいの巣(令和元年繁殖巣)		
巣内で青葉が確認され、羽毛が付着していた		
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマE-3
	撮影日	令和3年5月11日
クマタカEつがいのメス		
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマE-4
	撮影日	令和3年6月9日
クマタカEつがいの巣(令和元年繁殖巣)		
巣で繁殖は行われていない		



	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマE-5
	撮影日	令和3年6月18日
	クマタカEつがいのオス	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマF-1
	撮影日	令和3年4月27日
	クマタカFつがいのメス	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマF-2
	撮影日	令和3年4月27日
	クマタカFつがいのオス	

	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマF-3
	撮影日	令和3年4月27日
	クマタカFつがいの誇示飛翔	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマF-4
	撮影日	令和3年5月12日
	クマタカFつがいの巣 繁殖は行われていない	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマF-5
	撮影日	令和3年6月17日
	クマタカFつがいのメス	

	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマF-6
	撮影日	令和3年6月18日
	クマタカFつがいのオス	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマG-1
	撮影日	令和3年4月25日
	クマタカGつがいのメス	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマG-2
	撮影日	令和3年4月26日
	クマタカGつがいの幼鳥	

	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマG-3
	撮影日	令和3年5月12日
クマタカGつがいの巣 繁殖は行われていない		
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマG-4
	撮影日	令和3年6月16日
クマタカGつがいの幼鳥		
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマH-1
	撮影日	令和3年4月25日
クマタカHつがいのメス		

	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマH-2
	撮影日	令和3年5月13日
	クマタカHつがいの新たな巣 繁殖は失敗していた	
	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオA-1
	撮影日	令和3年5月14日
	オオタカAつがいの巣 繁殖は行われていなかった	
	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオA-2
	撮影日	令和3年6月8日
	オオタカAつがいの巣 繁殖は行われていなかった	

	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオA-3
	撮影日	令和3年6月8日
	オオタカAつがいの巣 繁殖は行われていなかった	
	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオA-4
	撮影日	令和3年6月8日
	オオタカAつがいの巣 繁殖は行われていなかった	
	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオB-1
	撮影日	令和3年5月12日
	オオタカBつがいのオス（推定）	

	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオB-2
	撮影日	令和3年5月14日
	オオタカBつがいの巣 繁殖は行われていなかった	
	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオB-3
	撮影日	令和3年5月14日
	オオタカBつがいの巣 ノスリが繁殖を行っていた	
	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオB-4
	撮影日	令和3年5月14日
	オオタカBつがいの巣 繁殖は行われていなかった	



	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオB-5
	撮影日	令和3年5月14日
	オオタカBつがいの巣 繁殖は行われていなかった	
	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオD-1
	撮影日	令和3年4月25日
	オオタカDつがいのオス（推定）	
	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオD-2
	撮影日	令和3年5月16日
	オオタカDつがいのオス（推定）	

	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオD-3
	撮影日	令和3年5月13日
	オオタカDつがいの巣 繁殖は行われていなかった	
	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオD-4
	撮影日	令和3年5月13日
	隣接するオオタカCつがいの巣 抱卵中と推定された	
	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオD-5
	撮影日	令和3年6月9日
	隣接するオオタカCつがいの巣 繁殖は失敗していた	


	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオD-6
	撮影日	令和3年6月9日
	隣接するオオタカCつがいのメス (死体) 巢の直下で確認された	
	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオD-7
	撮影日	令和3年6月9日
	隣接するオオタカEつがいの巢 抱卵中もしくは抱雛中と推定され た	
	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオD-8
	撮影日	令和3年6月15日
	オオタカDつがいのメス (推定)	

	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチB-1
	撮影日	令和3年6月8日
	ハチクマB地区の巣 繁殖は行われていない	
	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチB-2
	撮影日	令和3年6月8日
	ハチクマB地区の巣 繁殖は行われていない	
	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチB-3
	撮影日	令和3年6月15日
	ハチクマB地区で確認されたオス	

	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチC-1
	撮影日	令和3年5月16日
	ハチクマC地区で確認されたオス	
	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチC-2
	撮影日	令和3年6月18日
	ハチクマC地区で確認されたメス	
	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチC-3
	撮影日	令和3年6月18日
	ハチクマC地区で確認されたオス	

	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチC-4
	撮影日	令和3年6月18日
	南西側遠方に位置するハチクマC 地区の既知の巣 繁殖は行われていない	
	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチC-5
	撮影日	令和3年6月18日
	南側遠方に位置するハチクマC地 区の既知の巣 トビが繁殖を行っていた	
	保 全 対象種	ツミ
	写 真 番 号	ツミ-1
	撮影日	令和3年6月15日
	新たに確認されたツミの巣 抱卵中であった	

	保 全 対象種	ツミ
	写 真 番 号	ツミ-2
	撮影日	令和3年6月15日
ツミの既知の巣 繁殖は行われていない		
	保 全 対象種	ハイタカ
	写 真 番 号	ハイ-1
	撮影日	令和3年6月18日
新たに確認されたハイタカの巣と メス 抱卵行動を行っていた		
	保 全 対象種	ゴマシジミ本州中部亜種
	写 真 番 号	ゴマ-1
	撮影日	令和3年6月14日
ワレモコウの生育状況		

	保 全 対象種	ゴマシジミ本州中部亜種
	写 真 番 号	ゴマー2
	撮影日	令和3年6月14日
	確認されたハラクシケアリ	
	保 全 対象種	ゴマシジミ本州中部亜種
	写 真 番 号	ゴマー3
	撮影日	令和3年6月14日
	環境保全措置の実施箇所の状況	
	保 全 対象種	ゴマシジミ本州中部亜種
	写 真 番 号	ゴマー4
	撮影日	令和3年6月14日
	確認されたハラクシケアリの巣	

工事実施箇所一覧表(7・8工区)

別紙

○:工事中 △:冬季中断 ●:工事完了

鉄塔番号	伐採工事	道路工事	仮設工事	基礎工事	組立工事	架線工事	仮設撤去	付帯工事	備考
125	●	—	●	●	●				
126	●	●	●	●	●	↑	↑	↑	
127	●	—	●	●	●				
128	●	●	●	●	●				
129	●	●	●	●	●				
130	●	●	●	●	●				
131	●	●	●	●	●	●	●	●	
132	●	—	●	●	●	↓	↓	↓	
133	●	●	●	●	●				
134	●	—	●	●	●				
135	●	●	●	●	●	↑	↑	↑	
136	●	●	●	●	●				
137	●	●	●	●	●				
138	●	●	●	●	●				
139	●	●	●	●	●	●	●	●	
140	●	●	●	●	●	↓	↓	↓	
141	●	●	●	●	●				
142	●	—	●	●	●				
143	●	●	●	●	●	↑	↑	↑	
144	●	●	●	●	●				
145	●	●	●	●	●				
146	●	●	●	●	●	●	●	●	
147	●	●	●	●	●	↓	↓	↓	
160	●	—	●	●	●	↑	↑	↑	
161	●	●	●	●	●	●	●	●	
162	●	●	●	●	●				
163	●	●	●	●	●				
164	●	●	●	●	●				
165	●	●	●	●	●	↑	↑	↑	
166	●	●	●	●	●	↓	↓	↓	
167	●	●	●	●	●				
168	●	●	●	●	●	●	●	●	
169	●	●	●	●	●				
170	●	●	●	●	●				
171	●	●	●	●	●				
172						↓	↓	↓	

○:工事中 △:冬季中断 ●:工事完了

鉄塔番号	伐採工事	道路工事	仮設工事	基礎工事	組立工事	架線工事	仮設撤去	付帯工事	備考
172	●	●	●	●	●				
173	●	●	●	●	●				
174	●	●	●	●	●				
175	●	●	●	●	●				
176	●	●	●	●	●				
177	●	—	●	●	●				
178	●	—	●	●	●				
179	●	—	●	●	●	●	●	●	
180	●	—	●	●	●				
181	●	—	●	●	●				
182	●	—	●	●	●				
183	●	—	●	●	●				
184	●	●	●	●	●				
185	●	—	●	●	●	△	△	△	
186	●	●	●	●	●				
187	●	●	●	●	●				
188	●	●	●	●	●				
189	●	—	●	●	●				
190	●	—	●	●	●	●	●	●	
191	●	—	●	●	●				
192	●	●	●	●	●				
193	●	●	●	●	●				
194	—	—	●	●	●				
195	—	—	●	●	●	●	●	●	
196	—	—	●	●	●	●	●	●	
197	—	—	●	●	●	●	●	●	